



2023年11月30日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾ミュージアム・コモンズ 新春展 2024

「龍の^{かけ}翔る空き地 唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」開催（1/10～2/9）

2024年の干支は「辰」（龍）。洋の東西を問わず文物に現れる龍ですが、自然を操る龍、秘境に潜む龍、守護する龍、あるいは戦う龍など、そのイメージはさまざまです。新年の幕開けに、個性豊かな龍の住処を訪ねてみませんか？

日本の龍は中国から伝来したと考えられています。中国伝来文化に着目した特別企画では、江戸初期に新たな漢学・漢詩の担い手として「唐様」の展開を準備した、^{からよう}林羅山と^{はやしらざん}その周辺の人々の書を展示し、文化を伝え展開させてゆく、今も昔も変わらぬ人々のコミュニティをご紹介します。

1. 基本情報

会 期：2024年1月10日（水）～2月9日（金）（土日休館）

特別開館 1月20日（土）、2月3日（土）

臨時休館 1月22日（月）、2月5日（月）

会 場：慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）

開館時間：11:00～18:00

入 場：無料、事前予約不要

詳 細：<https://kemco.keio.ac.jp/>

関連イベント：「唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」ギャラリートーク

2024年1月15日（月）14:00-15:00 堀川貴司（慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫 教授）

※最新情報はウェブサイトをご確認ください。<https://kemco.keio.ac.jp/>

2. 展覧会の概要

新たな年の挨拶にはどんな言葉やイメージを添えるでしょうか。お祝いの言葉、近況報告、親しい人の写真・・・「干支」も馴染み深いものです。

2024年の干支は「辰」（龍）。干支のうちで唯一の想像上の生き物です。龍は洋の東西を問わずいろいろな文物に表されてきました。自然を操る龍、秘境に潜む龍、守護する龍、あるいは戦う龍など、そのイメージはさまざまです。本展覧会では、新年の幕開けに、慶應義塾のキャンパスで文化財を巡る活動を行う部門から、「龍」にまつわる作品を集め、みなさまを個性豊かな龍の住処にご案内します。

日本の龍は中国から伝来したと考えられています。中国の文化はさまざまな時代に日本にもたらされ、独自の展開を遂げました。本展では特別企画として、江戸時代初期に新たな漢学・漢詩の担い手となった林羅山とその周辺の人々の書を展示し、文化を伝え展開させてゆく、今も昔も変わらぬ人々のコミュニティをご紹介します。

特別企画

「唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ センチュリー赤尾コレクションより」

中世から近世へ、時代が大きく変化するとき、文化もまた変わっていきます。「書」も例外ではありません。漢詩文の世界では、五山文学の担い手だった禅僧から、幕府や藩に仕える漢学者・漢詩人へと主役が交代していきます。

近世の漢学系の書は一般に「唐様^{からよう}」と呼ばれていますが、実際は 17 世紀後半、黄檗宗の僧侶の来日や、明代の書道手本の輸入をきっかけとして本格的に始まります。今回は、その前夜ともいべき 17 世紀前半に焦点を絞り、新たな漢学・漢詩の担い手となった人たち、特にその中心にいた林羅山^{はやしらざん}とその周辺の人たち（師匠・家族・門人・友人など）の書を集めてみました。いわゆる達筆とは見えない作品にも、それぞれの個性や工夫が表れています。その面白さを味わっていただければと思います。

3. 主な出品作品

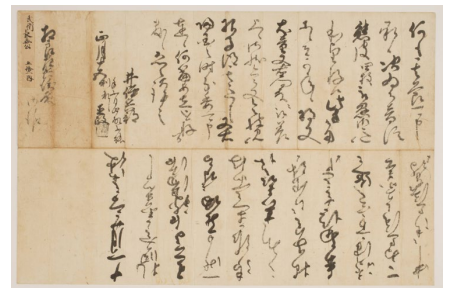
- 1 詠歌大概、[藤原定家] 撰、[室町中後期] 写、斯道文庫
 - 2 武田勝頼朱印状、天正 2 年（1574）3 月 24 日、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）
 - 3 井伊直政書状 [島津義久上洛等]、[慶長 7（1602）] 年 1 月 15 日、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）
 - 4 『地下世界』オランダ語版、アタナシウス・キルヒャー、1682 年、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）
 - 5 東京名所内 第一之霊場浅草金龍山境内之全図、歌川広重（三代）、明治 16 年（1883）、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）
 - 6 ラテン語時禱書 羊皮紙零葉、1480 年頃、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）
 - 7 刻字甲骨、商／紀元前 14-11 世紀、文学部民族学考古学専攻
 - 8 雲龍百足蒔絵文箱、室町時代（16 世紀）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）
 - 9 盤龍六花鏡、唐時代（8 世紀）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）
 - 10 木庵性瑠筆一行書、江戸時代（17 世紀）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）
 - 11 和栗由紀夫実演「動物と植物の媒介的生命」（動きのアーカイヴより）、2005 年、アート・センター 土方巽アーカイヴ
 - 12 藤原惺窩筆和歌、江戸時代（17 世紀）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）*
 - 13 林羅山筆元旦試毫、慶安元年（1648）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）*
 - 14 葡萄図、松花堂昭乗、江戸時代（17 世紀）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）*
- * = 特別企画「唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」出品作品



1



2



3



4



5



6



7



8



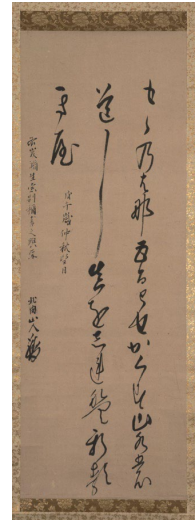
9



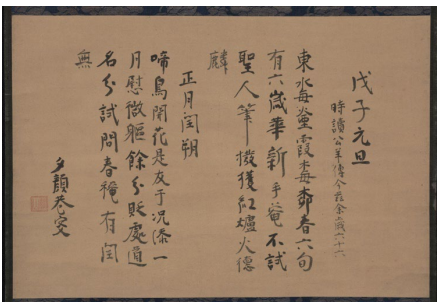
10



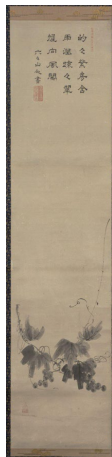
11



12



13



14

4. 会場案内

会場：慶應義塾ミュージアム・commons

住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学三田キャンパス 東別館

交通アクセス：田町駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分

三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分



慶應義塾ミュージアム・commons
(三田キャンパス 東別館) 外観

5. 主催・運営

主催：慶應義塾ミュージアム・commons、慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫

協力：慶應義塾大学アート・センター

慶應義塾大学信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）

慶應義塾大学日吉メディアセンター

慶應義塾大学文学部古文書室

慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻

慶應義塾福澤研究センター

慶應義塾大学三田メディアセンター

慶應義塾大学文学部民族学考古学専攻

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社教育部、文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（若原）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>